

【担当教員名】 相場恵美子	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

神経心理学的観点から言語発達障害について考察していきます。
また、言語発達障害演習 I に引き続き、必要な検査法や訓練教材の作成を実習します。

【学習目標】

- ・各種検査の神経心理学的評価への応用を学ぶ。
- ・問題点に即した訓練教材を作成する。
- ・文献講読を通し、症例報告の仕方を学ぶ。

回数	授業計画又は学習の主題		SBO	
			番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	検査法	神経心理学的検査の紹介		講義・演習
2	援助の技法	言語発達障害への取り組みの紹介		講義
3	文献講読	特異的言語発達遅滞児の症例報告		演習
4-5	個別検査の実際	WISC-III 実習		演習
5	文献講読	講読文献の発表		演習
6	症例の評価	症例の評価		講義/討議
7	教材の作成	訓練教材の作成		演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	特に指定せず、プリントを配布します。			
参考書	講義中、随時紹介していきます。			
その他の資料				

【評価方法】

平常の学習状況
レポート

【履修上の留意点】

- ・専門書や論文を積極的に読み解いていく姿勢を望みます。